

平成 27 年度 第 3 回 彦根市廃棄物減量等推進審議会 会議概要

開催日時：平成 27 年 12 月 18 日（金） 午後 2 時 00 分～午後 4 時 00 分

開催場所：彦根市役所 2 階 22 会議室

出席委員：大森豊江、金谷健、小林伊三夫、徳田三郎、富田うた子、平山奈央子、吉川満治

会長 それでは、議事を進めていきたいと思ひます。前回の審議会で、平成 26 年度の一般廃棄物処理基本計画の進捗状況評価書で評価案を出していただき、内容について審議を進めてきました。本日の議事では、前回の審議で皆さんからいただいた意見をもとに進捗状況評価書を修正いただいておりますので、この内容について確認いただきご意見をいただければと思ひます。

それでは、事務局より、進捗状況評価書より修正内容について説明いただきます。

事務局 《修正内容説明》

会長 有難うございました。それでは、ただいまの説明に対するご意見や、ご質問などございましたらお願いします。

委員 全体的に今回は、ずいぶん良くなったような気がします。重なって載せられている部分もあるほうが、よりわかりやすい意味から言ひますと、両方を載せることがいいのではないかと思ひます。例えば、表記に排出抑制が必要な項目や、「増えることが望ましい」という表現がありますが、増えることが望ましい項目の中に、「容器包装プラスチック」や、「小型家電」や、「ペットボトル」など、このようなものが果たして増える方がいいのかどうか。はなはだ疑問でして、先ほど数値はあるが、数値目標は無いというようなことも言われていましたが、それに該当するのではないかと思ひます。確かに回収されたものが全部リサイクルに回っているということであれば、わからないことではないですが、全部リサイクルに回るわけではないですから、増えることが望ましいというのは、はなはだ疑問に思ひます。もう一つ増えることが望ましい中に、「総排出量」とありますが、例えば、資源化量と再生利用率は、数値が上がるほうがいいということはわかりますが、その項目の中に「総排出量」とありますが、これも含まれるということですか。私も表現に困ったという思ひがあります。

事務局 実際に図 1-3 を作成しているときに、表現方法については悩みました。確かに「増えることは望ましい」と書いていますが、減るとごみの総排出量も減るということになりますので、矛盾のあるところでした。しかし、目標値的には増えているということがありましたので、一旦この様な表現をさせていただきました。「小型家電」につい

1 ては、新たに回収が始まったということで、増えていくことが望ましいですが、実際  
2 に「リデュース」か「リユース」かと考えますと、エコマーケットなどに回していた  
3 だくことが良いことなので増えていくことが望ましいと思いますが、言い方について  
4 悩ましいことで自分自身がどうすればいいかと思ったところでもあります。

5  
6 会長 今のご指摘は 25 ページのところですね。

7  
8 委員 25 ページ、26 ページのところですか。表記下段に注意書きが書かれているのですが、  
9 これどこまで理解できるかと思います。

10  
11 事務局 二つ目に言われた「総排出量」の部分に関しては、見落としていた部分ではありま  
12 すが、全体で見るとリサイクル率の話ですので、こちらに関しては資源化というこ  
13 とで、「増えることが望ましい」項目にはなっていますが、計算上の観点で「総排出量」  
14 を記載しています。これは増えてはいけない数字ですので、ここでの表現はそぐわな  
15 いのでおっしゃるとおりだと思います。

16  
17 委員 全体を統一した言い方ではなくて、この項目は除くみたいな言い方をどこかに記載  
18 していればいいのではないかと思います。

19  
20 会長 26 ページからは、「総排出量」を取ればどうですか、増えることが望ましい項目と  
21 しているのも、もし書くのであれば、「総排出量」というものを一番下の項目にして、  
22 再生利用率を求めるために記載と書いて、「増えることが望ましい」項目ではないとい  
23 うことをはっきりとわかるようにすればいいと思います。具体的に言いますと再生利  
24 用率を上項目へ、その下の「総排出量」を二重線などを引いて、参考と※の 2 とし  
25 てこの項目は「増えることが望ましい」項目ではないが、「再生利用率を示すために記  
26 載しました。」と、はっきり書かれることです。

27  
28 事務局 はい、わかりました。

29  
30 会長 それでよろしいか。

31  
32 委員 それで、結構でございます。

33  
34 委員 凡例を修正されたとのことでしたが、表紙次のページの総合評価に関する凡例も同  
35 じく修正すると言ってはいませんでしたか。

36  
37 事務局 今回、修正案の中では述べてはいないです。

38

1 委員 総合評価のほうも同様に修正されたほうが良いと思います。その際に、評価Cにつ  
2 いてですが、平成25年度よりも悪化しているとした場合に、翌年は、前年よりも悪化  
3 しているという意味合いになります。基準値は平成23年度になりますので、23年度  
4 より比較年度が減っているのか、増えているのかの方がわかりやすいと思います。  
5

6 会長 前年とみるのか、基準年とみるのか、そこは議論が必要だと思います。  
7

8 委員 評価書では、前年となっていますのでこの報告書では今のままでいいと思いますが、  
9 少し違和感を覚えます。  
10

11 事務局 実際に悩んだところでありまして、×の評価を前年度にしてしまうと、例えば、前  
12 年度目標を達成していて、翌年度も達成しているが、前年度より悪化しているような  
13 こともあり、○なのに×の表現も含んでしまう部分も出てくると思われます。23年度  
14 にするのか、25年度にするのか、この凡例を作る中で担当レベルでは議論はしましたが、  
15 評価自体が、前年度であると評価が容易にできるのではないかという思いもあり、  
16 ここは、25年度にさせていただいたところです。  
17

18 委員 例えば、一年間施策に尽力したことで、翌年に力尽きてしまい評価がCになること  
19 もあるということです。そのようなことを理解しつつ、この凡例で評価していくのは  
20 難しいと思います。中身に関しては、前年度と比較するということがいいと思いた  
21 すが、  
22

23 事務局 総合評価の部分ですね。  
24

25 委員 はい。それと、1ページのイ)の「目標と実績」のところ、進捗管理値に何%達  
26 していないというところに、具体的な数字を入れたほうがわかりやすいと思います。  
27 ただ、これは大変な作業量になるので次回以降の評価で対応するというでもいい  
28 と思います。  
29

30 事務局 イ)の部分の最初のところだと、進捗管理値に2%達していないと記載している  
31 と思います。その2%にプラス、何トンを加えるということでもよろしいか。  
32

33 委員 はい、2%の横に括弧書きで加えたほうがわかりやすいと思います。  
34

35 委員 2ページで、「焼却の状況」の最終行のところ、約1.8%増加しており進捗管理値  
36 に約7.1%達していないと書かれていますが、7.1%ではなく、7.61%ではないでし  
37 ょうか。  
38

- 1 事務局 計算は、また改めてさせていただきます。先ほど、委員が言われた内容ですが、「総合評価」の部分のCの凡例を基準年23年度より悪化していると変更することになりまして、25年度で評価していますので、数値が変わることはないと思いますが、評価の方法を変えないといけませんので、「総合評価」に関しましては、23年度と比較した評価で、改めて○、×をつけるということで、数値も計算しなおしたうえで出したいと思っておりますので、その点はご了承いただきたいと思っております。
- 7
- 8 委員 それはかなり難しいですね。
- 9
- 10 会長 そこはやはり合わせることにしたほうがいいです。今年度については、今のような懸念の部分は現実には無かったのですね。
- 12
- 13 事務局 はい、そうです。また、凡例の書き方ですが、今回、新しく書かせていただいたものに関しましては、25年度と比較して26年度の実績が悪化しているとしか書いていないですが、プラスアルファ、進捗管理値を達成していなくて、25年度と比較して26年度実績値が悪化しているという形で一言文言を加えさせていただくことで、達成していれば、前年度より悪化していても○という形になるように変えさせていただきたいと思っておりますがいかがでしょうか。
- 19
- 20 会長 そうですね。ここの○、×、△というものが、結局全てのケースを網羅していないと、変な話になってきますので、そこは今言われたようなことを付け加えていただきたいと思っておりますが、それで全部カバーできますか。
- 23
- 24 事務局 もしかすればこの方法で何年かやることによって、カバーできない部分が出てくるかもしれませんが、今年度については、この凡例方法ということでお願いしたいと思います。
- 27
- 28 委員 進捗管理値を達成しているのか、達成していないかをまず書いて、達成していない場合に前年度より低いか、高いかを記載する。そのようにすれば、漏れはないと思います。
- 31
- 32 会長 表ができないですか。○、×、△を入れていくと、こういう場合は○になり、違う場合は△や×になるということがはっきりするのでは、進捗管理値の関係と、前年度の関係ではなくて。
- 35
- 36 事務局 各個別に作成し、凡例の一覧表などを作成して、やらせていただきたいと思っております。
- 37
- 38 委員 A、B、Cの三つの評価にしなくてもいいということですか。極端な話を言えばA、

1 Bで進捗管理値よりも進んでいればいいということですか。  
2  
3 事務局 もちろん、そのような方法もわかりやすいと思います。  
4  
5 委員 昨年も三つの評価でしたね。  
6  
7 事務局 そうです。昨年、皆さんで協議いただいて、まとまった話と思いますが、更に、評  
8 価区分を一つ増やすことにするとか、一つ減らすことにするとか、ここで協議いた  
9 だいで決定することに問題はないと思います。  
10  
11 会長 他にはいかがでしょうか。  
12  
13 委員 全般の評価については、○、×、△を利用して、その後の進捗状況は○、×の  
14 評価をしています。よく読めば、よくわかる話ですが、同じ内容の表現で、全般の評  
15 価は△ですという表現が出ていて、総排出量で言えば、前半は△、後半は×と、その  
16 ような項目が非常に増えてきまして、△なのか、×なのか、他に見た人が同じ評価項  
17 目の中では、評価できないのではないかと感じました。ここでは、なぜ、△を入れな  
18 いのかわかりませんが、同じようにどのページを見ても、これについては、△、×と  
19 いうような評価のフォームは、見た人にとっては非常にわかりやすいのではないかと  
20 思います。進捗状況だけが達成しているか、していないかで○、×の判断だと思いま  
21 すが、一般の方が見られたらわかりやすいと思いますのでこの様にされてはどうかと  
22 いう提案です。  
23  
24 事務局 私が、作った際の思いとしましては、「資料編」の本編は、切り離して見ていただく  
25 ようなイメージを持って作らせていただきました。ですので、逆に△が入ることより、  
26 ○、×のほうがわかりやすいのではないかという思いがありましたので、切り離して  
27 見ていただくということで、○、×で「資料編」は評価させていただいています。た  
28 だ、言われるように異なる二つの評価が存在することにより、困惑される場合があり  
29 ますので、評価を一つにまとめるのか、どちらにするのか検討いただきたいと思います。  
30 また、△を追加することも可能ですので検討いただければと思います。  
31  
32 会長 これは、委員が言われたように、「資料編」も考え方は同じなので、○、×、△にし  
33 ておいたほうがいいのではないですか。  
34  
35 事務局 わかりました。修正させていただきます。  
36  
37 会長 「資料編」の21ページにフロー図がありますが、基本的に矢印が入ってくるものと、  
38 出ていくものの合計が一致することが大原則ですので、このような時、「焼却量」の部

1 分に下矢印をして「減量化量」と入れてください。つまり、「焼却量」から「焼却灰」  
2 になる過程が必要です。普通、ごみ処理フローというものは、そのようになりますの  
3 で、35,690 トンはどうなったのかと言われたときに、「焼却灰量」4,848 トンを引いた  
4 もの、これはCO<sub>2</sub>と水に逃げていきます。

5 それらを入れておけば、つじつまが合います。もう1点は、「古紙の回収」31 ページ  
6 の表7-1 下の※印の2行目のところで、「今後も急速に拡大・成長していくと見込んで  
7 います。」の「見込んでいます」の表現を変えたほうがいいです。「成長していくこと  
8 を期待します。」というふうに。そして、続けて「なお、店舗回収可能な店舗について、  
9 関係者との協議が必要と考えます。」と入れておかないと、現実には古紙回収できる店舗  
10 については、全ての店舗ができるわけではないので、スペースの問題もありますので、  
11 「見込む」というより、「期待」するとして、ただ、その為には、関係機関との協議が  
12 必要であり、市内にどれくらい店舗回収可能な店舗があるのか、しかし、あるがすぐ  
13 に回収が始められるわけではないので、協議をしなければならないということです。  
14 というふうにしたほうがいいのではないかと思います。

15 この調子で、店舗回収が増やしていければいいことだと思います。現実、来年など  
16 に市内のスーパーやホームセンター・その他の比較的駐車場が広い店舗などで、どの  
17 ような条件であれば少なくともできるのか、大規模小売店舗法の関係もあるでしょう  
18 し、その後に協議が必要ですし、その様なところを来年度にも調べるなり、検討しな  
19 いと絵に描いた餅になります。自然発生的には増えていかないと思いますので。

20 例えば、平和堂さんでデータの増やせるかどうかとなった時に、

21  
22 委員 このデータから見れば、今年はずっと増えます。今年だけで2店舗出していますから、  
23 この数字よりは更に上がります。今年、イオンさんも増えています。イオンさん  
24 がデータ提供していただけるかどうかわかりませんが、イオンさんのデータ提供と、  
25 ドラッグユタカさん。これは平和堂だけの数字ですか。

26  
27 事務局 ドラッグユタカさんも入っています。

28  
29 会長 平成34年度目標値が、1,250 トンとなっています。結局、そのところなのです。  
30 市の店舗回収の体制を整えることと、あとは、市民が古紙賦存量を持っているのか、  
31 やって見ないとわからないということになりますので、今、言われた話しのところを  
32 文言として書いておけばいいですが、実際のところ来年度は、検討されたほうがいい  
33 のではないかと思います。それで事業所が計画されているものであっても無理なく達成  
34 できるのか、もっとお願いしなければならないところを増やさないといけないのか  
35 は、それほど検討に時間はかからないと思います。

36  
37 事務局 いま現状、市内で設置いただいているのは、3事業者であると思いますが、そちら  
38 に関しましては、年明けないし、遅くとも来年度初めには、一度お話しには行こうと

1 思っていました。例えば、ホームページなどで、市民向けにリサイクルしている店舗  
2 を公開する、まずは市民に知ってもらうことが重要ですので、今後、しっかりと進め  
3 ていかなければならないと考えています。具体的には、古紙だけではなくて、容器包  
4 装トレイなども回収している店舗もありますので、それらも含めて情報提供できるよ  
5 うな体制作りを考えています。

6  
7 委員 今のところと関連して、店舗回収された量を計画の中にカウントされていないとい  
8 うことがあります。店舗側から、その情報をいただければ、この項目の中でも「情  
9 報共有・連携しています。」とすることができると思います。強制ではないですが、事  
10 業者との連携という意味で、情報提供の依頼をすることを、この審議会評価の中で書  
11 いていけば、次年度からお願いしやすいのではないのでしょうか。

12  
13 会長 それは、10 ページの一番上の取組のところを、「古紙や衣類等の資源物を回収する  
14 事業所および各店舗」について、記載のある「ホームページ」とは、どこのホームペ  
15 ージかわからないので、「市のホームページなどを利用し、情報提供すること」で後は  
16 このままで、今、やっていることを後押しするイメージになりますが、これに加えて、  
17 今後、店舗回収が可能な事業者について、調査や協議を行うなどの文言を付け加える  
18 といいと思います。

19 今のご意見は、このような内容でよろしいですか。

20  
21 委員 はい。その点も含めて回収量の報告を付け加えてください。

22  
23 委員 ここで、事業者との連携という簡単な言葉で言ってしまうている。この連携の中  
24 は、今言っておられるような資源回収すべきものの種類から、量的な情報まで全部  
25 いただきたいと言われる。連携の中には、これらが含まれているのですね。この辺をど  
26 のように説明するのかということになります。果たしてこの報告書の中に事細かく入  
27 れなければいけないのかという思いがあります。ここで連携と書かれているこの連携  
28 は、市側はよくご存知で、どの情報がほしいのかわかっておられるはずですから、こ  
29 こまで、この報告書に入れるべきですか。

30  
31 事務局 昨年度の段階ですと、平和堂さんと、ドラッグユタカさんにもアプローチさせてい  
32 ただきまして、情報の提供を快くいただいたところでございます。来年度に関しまし  
33 ても、おそらく提供いただけるのではないかと思います。イオンさんは、わからない  
34 部分ではありますが、提供依頼について進めていきたいと考えています。我々が把握  
35 している行政回収や集団回収が、どれくらいの量が店舗回収に移行されているのかを  
36 把握する部分については、情報の提供を受けていきたいと考えています。しかしなが  
37 ら、悩ましい部分もあり、実際にこの部分も資源化率に含めることとしていいものか  
38 どうか、その部分については悩ましいところでございます。なぜかと言いますと彦根

1 市のごみだけが入っているとは限らないということもありますけども、一応、示して  
2 いる数値は、国が行う実態調査に基づいた数値を出しているということになります。  
3 市は、実態調査の今の段階では、店舗回収を含めない形で報告をさせていただいてい  
4 ます。店舗回収を含めるという形にした場合には、市のリサイクル率が上がるという  
5 ことになりますのでいいことでありますし、今年に含めると約14%に上がりますので  
6 いいことであると思います。しかし、国が行う調査の数値と、市が行う調査の数値が  
7 違ってくるとするのは報告書としてどうかという思いもありまして含めていないとい  
8 う部分はあります。

9  
10 会長 その辺は、参考値して述べられたらどうですか。国の細かな目標の中にはあったよ  
11 うに記憶します。店舗も含めて容器包装プラスチックもありますから。

12  
13 事務局 資源化率は上がりますが、発生率も上がります。

14  
15 委員 市域外の部分も入っているということですが、平和堂さんをはじめとして、マーケ  
16 ティングリサーチを徹底されていますので、どの地域が、どの程度占めているのか全  
17 部把握されていると思います。そこで、事細かく教えてほしいと言われると店舗とし  
18 ては全部提供は難しいということになるかもしれませんが、全体の何割が市域から排  
19 出されているのか掴んでおられると思います。その辺を仕分けすることは難しくはな  
20 い。ただ、国の調査と、市の調査の違いをどの様に考えるかということです。

21  
22 会長 そこは、両方を出されるということではどうですか。彦根市としては、今の基本計画  
23 の中には店舗回収は入っていないので、次の段階の見直しを行うときに店舗回収など  
24 の含めた量が伸びているのかどうかなどをチェックしておくことが必要です。店舗ご  
25 との集客範囲があり、その辺を含めるとするのはかなり悩ましい話になると思います。

26  
27 委員 その数値は出さなくても仕分けした分だけを教えていただくということでもいいので  
28 すね。何割ですと。今や店舗回収量が無視できる数値ではなくなっている、現実問  
29 題として。これからもどんどん増えていくと思います。そうなると数値として記録し  
30 ていないと、行政施策の数値だけでは、どうのこうの言えない数値になると思います。  
31 できる限り早く、数値を抑えておくことが大事です。

32  
33 会長 排出された量のうちどれくらいの量が彦根市から出されたものなのか、割合は問わ  
34 なくても、結果だけでも聞くとしたら教えていただけますか。

35  
36 委員 各店舗ごとのシェアがありまして、彦根市や長浜市、多賀町など店舗ごとにありま  
37 すが、少し手間はかかりますが、そのシェアに回収量を掛けるだけですので、それし  
38 か提供できません。このレベルであれば情報の提供は可能です。シェア何%とはどう



1 ということかは申し上げられませんが、単純に掛けて割合を出すだけです。

2

3 委員 増えることが望ましいということで、集団回収は行われていると思いますが、集団  
4 回収が減少していくことは当然だと思います。私個人が実感していることで、集団回  
5 収は着実に減ってきています。減少しているから当然×になります。増えなければい  
6 けないのに。増えないから×ということですが、同じものが店舗回収へ行くものと、  
7 集団回収に留まっているものとの感覚は、集団回収日に出される量がどんどん減って  
8 いったいように見受けられるのです。以前なら回収の度に手伝わなければならなか  
9 ったくらい大変でしたが、このことは店舗回収と関係ありませんか。

10

11 事務局 実際に集団回収量と、行政回収量の進捗管理値が示されているので、こういうこと  
12 になるのでしょうか、言われるように市としては、古紙が燃やすごみの中に入らずに、  
13 どんな形でもいいので、リサイクルされていればいいのかと思います。

14

15 委員 集団回収と行政回収がマイナスになって行くことでもいいのですか。

16

17 事務局 極論を申しますと、古紙や衣類などの合計量が増えていけばいいということです。

18

19 会長 31 ページ表の進捗評価では、数値があるのはいいが、合計値で評価するほうがいい  
20 のでは。

21

22 事務局 目標値として集団回収では、回収量が減少していくように設定させていただいてい  
23 ます。あまり下がらないように。店舗回収は、集団回収で減少していったものが店舗  
24 回収に回っていると申しますか、移行されているという状況です。どんどん、集団回  
25 収は減少していることは事実です。

26

27 委員 自宅から出る紙を燃やすごみに出さない。その徹底が必要かと。私たちは関心があ  
28 るものの、関心のない人は燃やすごみに出されます。

29

30 委員 リサイクルできるものを、よりリサイクルしていくように家族同士でもしっかりし  
31 て行かないと、中々、皆さん燃やすごみに出すほうが楽だと思えるようになると一つの  
32 袋だけではなくて、三つも、四つも持って行かれて集積所へ出されます。出前講座に  
33 参加した人で何気なく聞いている人は、普段あまり分別などしていないのでしょうか。  
34 家に帰ってどこまで報告できているのか疑問ですが。我が家でも同じように分別講座  
35 みたいなものをしてみまして、普段自分が、どれだけ携わっているかによって、家で  
36 どの分別に入れたらいいか話し合っているつもりなのですが、あまり伝わってい  
37 ないように思うときがあります。要は、資源にできるものは、より資源に回していく  
38 ようにする。楽な方法は燃やすごみに入れればいいと思う人がいますが、ちょっとき

1 れいにするだけで資源にできるのに燃やすごみに入っているものをよく見かけます。  
2 出前講座の大切さを家の中でもどれだけ話し合っているのか、それぞれの家庭の中に  
3 伝わっているのか、分別できていないごみは、不法投棄されているごみが多いです。  
4 まず第一歩、分別するところから始まり、きちんと出すことを心がけるようにと思っ  
5 ています。

6  
7 委員 22-2 ページ、A3 ですが、最初に説明・タイトルがあればいいと思います。それぞ  
8 れに表記している数値をどのように読み取ればいいのか説明が必要と思います。タイ  
9 トルでわかるのであればタイトルだけでもいいと思います。

10  
11 会長 これは、「平成 26 年度廃棄物処理フロー図詳細」ですね。

12  
13 委員 そうですね。何年度と書いているので、年間の排出量だということはわからなくも  
14 ないですが。

15  
16 委員 23 ページから始まる、実績値と進捗管理値とを表す図ですが、見慣れず読みにくい  
17 と感じます。

18  
19 会長 この 23 ページの図 1-1 ですか。

20  
21 委員 1-1 だけでなく 23 ページ以降ほとんどなんですが、進捗管理値が、棒グラフになっ  
22 ていたり、折れ線になっていたり、実績値を棒、進捗管理地を折れ線にして統一する  
23 ことにすれば、線を越えているかいないかで、目標に達しているのか、達していない  
24 のかは見やすくなると思います。そして、進捗管理値を積上げ式の棒グラフで描かれ  
25 ているのは、細かすぎてあまり意味がないように思います。例えば、24 ページですと  
26 燃やすごみがほとんどで、その他の進捗管理値はどうかは、この棒グラフでは読  
27 み取れません。26 年、27 年以降は、合計値だけを示しておくだけでいいのではないで  
28 しょうか。これから、全部を修正するのは大変と思われるので、次年度以降に変更す  
29 るということでもいいのではないかと思います。白黒で配られるのであれば、凡例の  
30 見分けがつかない点は最低限修正したほうがいいと思います。

31  
32 事務局 なるべくコンパクトにまとめてお示しできればとの思いがありまして、積上げ式の  
33 グラフを使用させていただいた部分がありまして、本来ですと、それぞれの項目ごと  
34 にグラフを作り、言われたように進捗管理値を目安に達しているのか、達していない  
35 のかというように直感的にわかるようなグラフを作成することが必要であったと思  
36 いますが、ただ、各個別ごとに作成すととなりますと資料が大変な量になってしまいます。  
37 今回のように積上げ式のグラフにさせていただいたことで、時間的余裕のない部分が  
38 簡素化できたということになります。

1  
2 委員 積上げ式の棒グラフについてはいいと思いますが、進捗管理値とそうではないものを  
3 全部のグラフで統一されたほうがいいと思います。  
4  
5 会長 それは、23 ページの「1 人 1 日あたりの排出量」のところは折れ線グラフになって  
6 いるのはここだけではないですか。他には折れ線グラフになっていないです。ここだ  
7 けです。  
8  
9 委員 進捗管理値は、折れ線グラフにはなっていないです。  
10  
11 会長 ここでは、「1 人 1 日あたりの排出量」のところは、排出量進捗管理値は棒グラフに  
12 なっていますが、1 人 1 日あたりでは統一して折れ線グラフになっています。ここで  
13 分かりにくいのは、棒グラフと、折れ線グラフが、左右どちらの目盛を示しているの  
14 か、これではわかりません。  
15  
16 委員 矢印が描いてあるので、余計にわかりづらいです。実績値であっても「1 人 1 日あ  
17 たり排出量」は、左の表の数値を使うわけですから。  
18  
19 会長 23 ページに関しては、図の右側に示された凡例のところは少し面倒でも右軸や左軸  
20 と入れるなどして、関連するグラフを示すように。  
21  
22 事務局 23 ページのグラフに関しましては、「1 人 1 日あたり」も「総排出量」も一番の根幹  
23 を成す重要なところですので、グラフを 2 つに分けるという方法もごさいます。その  
24 ような形でやらせていただければ、1 つグラフが増える程度であれば問題は  
25 ありませんので、それも 1 つの解決法かと思います。  
26  
27 会長 凡例ですが、上から「総排出量」、「排出量進捗管理値」とありますが、この総排出  
28 量という言葉を使用するのであれば、「総排出量実績値」と「総排出量進捗管理値」に  
29 すべきです。実績値と進捗管理値の違いですから。ここのは 2 枚に分けるので  
30 すか。  
31  
32 事務局 2 枚に分けます。グラフの中に描き加えると、余計にごちゃごちゃするとわかりに  
33 くくなりますので、2 つに分けさせていただきます。  
34  
35 会長 実績値と進捗管理値は、同じ棒グラフで今のままでということをお願いします。25  
36 ページの棒グラフの積上げ形式はどのようにしますか。これはもともとカラーコピー  
37 になっていますので、赤字で示している部分もありますので、この図表は全部カラー  
38 ではないのですか。

1  
2 事務局 イメージ的には、白黒でも印刷しましたときに、わかりやすいようにと思いまして  
3 このような形にさせていただいたのですが、逆にわかりにくくなってしまったようで  
4 す。  
5  
6 会長 ですので、棒グラフについては、合計のみ、形で示すほうがわかりやすいと思いま  
7 す。実績値が濃い色で、進捗管理値が薄い色で、各グラフを統一してください。その  
8 ようにした場合には、25 ページの表についても、下段を設けて合計量を出していただ  
9 いたほうがいいと思います。  
10  
11 委員 これらをカラーで印刷したとしても、図 1-2 の割合が、棒グラフの中で、増えている  
12 のか、減っているのかわかりますか。ここまで分ける必要がないのではないかと思  
13 います。  
14  
15 会長 図示するのであれば棒グラフを合計量で示すと、直感的にわかりやすく示すことが  
16 できるのではないですか。ただ、合計量の目標値というのは決められておらず、結果  
17 的には示されていませんね。図 1-2 では、進捗評価は個別でされています。全体の目  
18 標値を示していないのであれば、そもそも、棒グラフを入れる必要はないですね。  
19  
20 事務局 24、25 ページに関しましては、表の 1-1 をわかりやすくするために分割して表記し  
21 たところがございますので、あえて、目標値を評価することは、今は必要がないと思  
22 いますが、確かに言われることも間違いのないことですので、グラフを抜かせていた  
23 だく方向にさせていただきたいと思います。  
24  
25 会長 グラフを抜いて、図 1-2 と、図 1-3 を削除してください。  
26 15 ページ 2-1 アのところ、「1 人 1 日あたりの生ごみ等排出量」の説明のところ、  
27 年度ごとのごみ組成調査では、組成成分にばらつきが出るので、過去 5 年分の平均組成  
28 で示されているということですが、けっこう実務的で大事な部分です。しかし、この  
29 ことについては、どこにも書かれていませんので、アの「目標と実績」の表下段に注  
30 釈をつけて、このような方法で表した数値であることを示されるといいです。組成調  
31 査については、サンプリングの問題もあって、どうしてもばらついてしまうというこ  
32 とです。  
33  
34 委員 関連しまして、「1 人あたりの生ごみ等排出量」は実際に測った値ではなく、計算し  
35 ているとどこかに書いてありましたか。  
36  
37 会長 書いてないです。この量は、人口 1 人あたりということですね。特にごみ等排出量  
38 は、条件を含めた数値ということですね。生ごみ等排出量については、家庭系のもの

1 に限られる訳ですか。

2

3 事務局 事業系も含めて算出しています。

4

5 会長 では、それらを含めて評価の凡例とは別に注釈を入れられたほうがいいのではない  
6 ですか。

7

8 事務局 計算方法を入れさせていただきます。

9

10 会長 改めて見ますと 15 ページ④のところ、市民 1 人 1 日あたりと書かれているのは、  
11 人口に置き換えてください。市民だけではないですね、家庭系と事業系を合わせたも  
12 のを示していることになるので、人口でなければ誤解されやすいということです。生  
13 ごみ等の等が抜けているところがありますが、生ごみ等の等とは何をいわれるのです  
14 か。生ごみのところで、組成調査を行って割合を出していますね、等はいらな  
15 いです。  
16 ごみ等排出量の等は何ですか

17 委員 これは、資源ごみも含まれるから等を入れたのですか。ただ、出されるときは要ら  
18 ないものですからごみですね、その中に資源ごみが含まれているということだけであ  
19 って。

20

21 事務局 今は、市では資源ごみとは言っていません。資源物というような言い方をしていま  
22 す。徳田委員が言われたように、廃棄物処理法の中では、資源も廃棄物として扱われ  
23 ています。

24

25 委員 そうですね。ですので、ここでは廃棄物として「ごみ」という表現をしなければい  
26 けないと思います。

27

28 事務局 一般市民の方は、市のほうは、ごみと資源を分けて出ささいと言っておきながら  
29 どうなのかならないように「ごみ等」と示しています。

30

31 会長 そういうことであれば、「ごみ等」される説明が必要と思います。

32 「ごみ処理編」1 ページの表記※印の後に「ごみ等」とは、「ごみと資源」というよ  
33 うに示してください。その下の進捗管理値の要件について、「平成 34 年の目標を達成  
34 するために、各年度に達成すべき値」とありますが、ここは「平成 34 年の目標を達成  
35 するために、比例配分で各年度に達成すべき値」と「比例配分で」を付け足すとい  
36 うことでどうですか、現実的にはそういう意味合いですね。段階的増減を示すものや、  
37 ある時期に突然現れるものもありますが、ここでは、直線的に比例配分しているとの  
38 意味合いでということをはっきりしておく必要があります。

1  
2 委員           あとは、表現的におかしいと思われる部分があります。  
3  
4 会長           どのあたりになりますか。  
5  
6 委員           数えきれないくらいありますが、例えば9ページ「スーパー等店舗での古紙・衣類  
7 回収の促進」のところで、「エコスポット」という表現をされていますが、赤文字で書  
8 かれていたところですね。ここでは、古紙の回収になるのですね。21ページ「総合評価」  
9 の3行目で、「専門の所属が設けられ」とありますが、「専門の部署が設けられ」とい  
10 うことでは。続いて「専従の職員も配置」、「設置」ではなく「配置される」です。更  
11 に、5行目「それぞれの主体の役割分担を行うことにより」ですが、「それぞれの主体  
12 の役割を担うことにより」ということです。その他にも色々ありますが、最後の「期  
13 待しております。」は、「期待しています。」です。  
14  
15 会長           確認しますと、「専門の部署が設けられ」、「専従の職員も配置される」ということで  
16 すが、「専従」ですか、「専任」ではないですか。ごみ減量は、これを専門にされる方  
17 という意味ですので「専任」ですね。「それぞれの主体の役割分担を行うことにより」  
18 とはどういうふうなことでした。  
19  
20 委員           「役割分担を行うことにより」を「役割を担うことにより」のほうがいいのでは、  
21 それぐらいの訂正であればたくさんありますので、よく見てあげてください。他に、  
22 「いただきたい」というところが漢字であったり、ひらがなであったりするので、ど  
23 ちらかに統一してください。15ページの「地域行動計画編」の「趣旨」のところですが、  
24 「ごみ処理編」の「趣旨」と同じような書き方で締めくくってください。「報告す  
25 るもの」で終わっていますが、「報告するものです。」というように。  
26  
27 会長           他には、いかがでしょうか。  
28                今後は、どのようにされますか。  
29  
30 委員           数値的のところや、表の見方などは、全部意見が出ている様なので、あとは文言の  
31 修正くらいだと思いますが。  
32  
33 会長           それでは、いただいたご意見を基本的に全部反映させて、内容的なところでは意見  
34 が対峙していることはなかったと思います。表現の統一性などそういったところだと  
35 思います。では、今年度、改めて審議会を開く必要はないということでもよろしいか。  
36 しかし、審議会を開かないということにしても、訂正した資料は一度委員の皆さんに  
37 お送りいただいて、期限を切って確認をしていただくということでもお願いします。  
38

1 事務局 改めて、資料は訂正させていただきまして、送らせていただいた後、意見をいただき  
2 きまして、修正しまして、最終版とさせていただきたいと思います。  
3

4 会長 では、ここでの表紙の日付については、27年12月ですか、28年になりますか。  
5

6 事務局 28年になると思います。  
7

8 会長 今年度中ということですね。  
9

10 事務局 ですが、できるだけ早く出ささせていただきたいと思います。昨年度は3月、4月に  
11 なってしまいましたので、去年も早く作成しないと次の施策に反映できないのではな  
12 いかと言われていましたので、できるのであれば1月、遅くても2月中には仕上げた  
13 いと思います。  
14

15 会長 日付は、28年度1月末あたりになるということですね。  
16

17 事務局 はい、1月でさせていただきたいと思います。  
18

19 委員 前年度の「今後の評価」のところに、その様に書いています。4月になるというの  
20 はいかがなものかと思います。会社などでは3月に決算が終わります。それから株主  
21 総会は6月あたりになります。6月あたりには決算の結果が出ているのです。今この  
22 会議で廃棄物進捗状況評価していることは、去年度のことですね、ちょっとこれでは  
23 タイムスケジュールが悪すぎるのではないかと思います。もっと早くに出さなければ  
24 いけないことだと思うのですが、市民が1年前のものを見ても、これは何だというこ  
25 とになるかもしれないですし、できればもう少し早く出させていただきたいと思いま  
26 するべく3月、4月で数字をまとめ、5月、6月、7月で評価をまとめ上げる。そして  
27 8月、9月には出来上がっていないと具合が悪いのではないかと思います。  
28

29 会長 今年は、多少、試行錯誤があっても、来年度はおそらくやり方が決まってくるので  
30 で、やりやすくなるとは思いますが、もう少し早く出来てもいいような気がします。  
31

32 事務局 本来、もう少し早くやらなければいけないと思っていましたが、まだ、固まってい  
33 ない部分もございましたので、できれば2回程度で、審議会を終わらせていただけれ  
34 ばいいとは思っているのですが、それは、ちょっとむずかしいと思います。  
35

36 委員 これは、どのように公表されるのですか。  
37

38 事務局 ホームページになります。

1  
2 会長           ちなみに滋賀県下で、市町村単位で、一般廃棄物処理基本計画の進捗状況というも  
3 のを基本的に毎年チェックしているというところは、多分、ないのではないかと思います  
4 ます。普通は、5年の見直しの前に慌ててやられるところがありますが、しかし、色々  
5 と厳しいことをたくさん言いましたが、これについてはいいことであると思います。  
6  
7 委員           この審議会の議事録はいつになりますか。  
8  
9 事務局        修正したうえで掲載します。  
10  
11 委員           来年度は、できる限り予算に間に合うように。  
12  
13 事務局        そうですね。11月初めには出来るように。  
14  
15 委員           ぜひともお願いします。そうでなければせつかくの評価が、次の年度には反映され  
16 ないということになりますので。  
17  
18 会長           議事録になぜそんなに時間がかかるのですか。  
19  
20 事務局        全部、一語一句おこしていますので時間がかかってしまいます。去年度に関しまし  
21 ては、専任の職員がいなかったことで、別の業務も重なってしまして、年度末にまと  
22 めて送らせていただいた経緯もあり、大変申し訳ございませんでした。今年は2名の  
23 選任の職員を置いていただけましたので、その都度、出来てはいるのですが、次の審  
24 議会が迫ってきまして、その資料作成などを並行して行っていますので、どうしても  
25 遅れがちになってしまいます。  
26  
27 会長           テープ起こしは、職員がされているのですか。  
28  
29 事務局        はい。我々でさせていただいております。  
30  
31 会長           テープ起こしは、外注されているのではないのですか。  
32  
33 事務局        外注はしていません。この設置していますレコーダーをそのまま聞きまして、基本  
34 的には、語尾などを修正させていただく場合がありますが、できるだけ表現どおり  
35 になるようにそのままの形になるよう心がけております。  
36  
37 委員           ありのままを載せておられるのですね。  
38



1 委員 一語一句、起こされるのは大変なので趣旨や概略だけでいいのではないですか。  
2  
3 事務局 それもありなのですが、結局全部聞いて、また改めて起こさないといけないという  
4 ことになりますので。  
5  
6 委員 テープ起こしは大変ですよ。  
7  
8 事務局 復習にもなりますので、我々にとってはありがたいことです。また、聞き直しなが  
9 ら資料の作成を行っているという状況です。一度で要約できるといいのですが、どう  
10 してもまた聞き直したうえで要約をする形にはなります。  
11  
12 会長 ご苦勞がわかりました。  
13  
14 委員 公表できる数字などは、できるだけ早く出していただいて、市民の皆さんに見てい  
15 ただいて関心を持ってもらうようにしたほうがいいと思います。  
16  
17 会長 ごみ量などのデータは、毎月集計されているわけですから、それは1ヶ月遅れくら  
18 いで、何もコメントなしで出されてもいいのではないですか。  
19  
20 委員 表紙タイトルの書き方ですが、「計画の進捗状況評価」をメインにして下段にこの計  
21 画の対象年度を記載した方がいいと思います。  
22  
23 事務局 わかりました。修正させていただきます。  
24  
25 会長 こうすればどうでしょう。「彦根市一般廃棄物処理基本計画の平成26年度進捗状況  
26 評価」と、そして、言われたように※で、彦根市一般廃棄物処理基本計画の、計画年  
27 度は、平成26年度から平成34年度です。と小さく記載する。  
28 よろしいでしょうか。そうしましたら、今年度の廃棄物減量等推進審議会は、これ  
29 で閉会とします。昨年度と比べて、非常に体系的によくなったと思いますし、昨年度  
30 より進捗していると思います。さすがに専任のスタッフがおられるだけのことはあり  
31 ますが、まだまだ、色々と検討されることもあると思いますので、来年は今、指摘が  
32 ありましたように、できるだけ早めにスタートができればよろしいかと思ひます。  
33 どうも、ありがとうございました。それでは、最後に事務局からお願いします。  
34  
35 事務局 今年度、最後ということで、平成24年度末に計画を作成し、進行管理していこうと  
36 いう最初の2年間を皆さんのご意見をいただきまして、このような結果報告書にして  
37 いただきまして、改めまして感謝申し上げる次第です。前期の審議会の中では、何名  
38 かの方に携わっていただきましたが、当時を思い出しますと、私も原因者の一人とし

1 て清掃センターにいた頃にどんだんごみが増えていく中で、焦りのような部分がござ  
2 いました。みなさんのご意見を含めて、自分たちのやるべきことを今ある一般廃棄物  
3 処理基本計画の中にできるだけ含めるようにさせていただいた思いがございます。こ  
4 れに基づいて、この2,3年間は、粗大ごみの100キロ無料枠の廃止ということで、廃  
5 止する前の3月末は、職員が血眼になって、文化プラザ前の道路が渋滞し、並ばれる  
6 お客さんから、叱られながら業務を行った思い出があります。ただ、その時清掃セン  
7 ターの職員が、文句も言わずに淡々と業務をやり遂げてくれました。他に事業系の搬  
8 入料金についても今年度の8月から、改定させていただき、事業所の皆さんには申し  
9 訳ないのですが、若干、料金を上げさせていただきました。収集運搬許可業者や搬入  
10 される市民の方に対しては、性善説での対応をとらせていただいていたのですが、99パ  
11 ーセント黒と思っている、1パーセントの真実に望みを懸けていたのですが、清掃セ  
12 ンターで、処分や罰則を定めて、搬入物検査を許可業者に対して年に5回も、6回も  
13 行い、廃棄物の中身を全てチェックし、違反物の調査をしていただきました。グラフ  
14 でもわかるように、かなりの事業系一般廃棄物以外のものが、ルールに反したものが  
15 削ぎ落とされて、やっとの思いで1人あたりの排出量が、正確に示せるようになって  
16 きたのではないかと感じています。今年度からは、草や剪定枝のリサイクルについて  
17 も取り組んできまして、リサイクル率の速報値11月末で、約15パーセントです。昨  
18 年度は12.8パーセントだったものが2%以上向上したということになります。1人1  
19 日あたりのごみの排出量についても、私が清掃センターにいました頃、約2年前には、  
20 1,112グラムから、速報値では1,002グラムになり、今年度末には、やっとのことで3  
21 ケタ台に到達できると予想され、県内でも突出しない値になるのではないかと期待し  
22 ています。

23 それに加えて会長からも言われたように、審議会から、廃棄物対策専門の部署を設  
24 けるように発言いただいて、初代の室長にさせていただきましたが、ひとえに、私で  
25 はなく、現場の人間であるとか、基本計画の進行管理に携わっていただいた人たちの  
26 おかげであると思います。それと審議会委員の皆様のおかげだと思っております。本  
27 当に2年間お世話になりまして、ありがとうございました。

28  
29 全員 ありがとうございます。

30  
31 【平成27年12月18日 金曜日 午後4時 閉会】  
32